

大正ものづくりフェスタ 2016に参加しました。

今年で4回目となる“大正ものづくりフェスタ”。8月6日の土曜日に例年通り大正区役所にて開催しました。

今回のテーマは「ものづくり縁日で遊ぼう」でしたので、地区で4つに分けた各グループはテーマに沿って趣向を凝らしました。

私たちのグループ「千島・小林」は、「工具キャッチャー」と題して、ものづくり企業が普段使っている工具で、水の中のネジやボルト、浮かんでいる木材を子供たちにつかんでもらいました。



そして、自分たちで作った紙袋に壁紙を張ったり、スタンプを押したりしてもらい、ゲットした“獲物”を袋の中に入れてお土産にしました。



他のグループでは、輪投げや紙相撲、鉛筆づくり、昔ながらのおもちゃの製作、紙漉きなど、ものづくり色を出しながらそれぞれ縁日風景を演出されていました。



グループでの出し物とは別に、私たちは、定番となった“積み木遊び”、そして、昨年に引き続き、イベントの最後を飾る“親子でミニ家づくり”を行いました。



来場者は約 850 名とのことで昨年の 1000 名より数字の上では少なかったようですが、体感的には全くそのようには感じませんでした。午前午後ともに大入りで、特に午後からの来場者が多かったように思えました。

子どもさんを主な対象にしたイベントですが、地元住民や近隣区の方へのこのイベントの知名度は高まっているようです。



各高校との連携や出展、各種団体の参加、“浸水体験”ゾーンなど、回を追うごとに盛り上がっているのがわかります。また、出展や協賛企業も、初回から比べるとかなり多くなっています。



このことは「ものづくり」を地域の活性化につなげようという大正区役所の筋原区長始め職員の皆様のご尽力の賜物と思います。もちろん、積極的に関与されている各企業の姿勢によるところでもあります。



イベント中に幾人もの地域の方からお声を掛けていただきました。私たちのイベントなどを通じてお知り合いになった皆さんです。なにかあればお声を掛けていただける存在になりたいという思いで、これからも地域に認めてもらう気持ちを大切にしたいです。